



## 石岡第一病院での特定ケア看護師の活動について

石岡第一病院 特定ケア看護師 足立喬史

### はじめに

私の所属している石岡第一病院は、病床126床(一般病棟86床、地域包括ケア病棟40床)、診療科は内科、整形外科、小児科、口腔外科、耳鼻咽喉科、形成外科の6つ、三次医療機関・地域の病院・診療所と連携を取りながら、石岡地域の医療を担っており、開院して今年で28年目になります。

当院は、茨城県のほぼ中央部に位置しており、都心から1時間圏内にあります。人口は約74,500人で年々減少してきており、高齢化率は30%と年々増加してきております。

### 特定ケア看護師の必要性を感じた瞬間

それは2016年に県立志摩病院へ支援に行かせていただいたときに、そちらで勤務されていた診療看護師 筑井菜々子さんとの出会いでした。当院と同様、慢性的な医師不足のため、外来診療や手術中などで病棟管理や救急対応がすぐできない中、医師不在の病棟で的確にスタッフに指示を出して病棟管理を行っている姿を見て、当院でも特定ケア看護師として働くことで、多忙な医師のサポートが行えると思えました。



石岡第一病院

患者様を診察して状態をアセスメントすることで医師に患者様の状態を報告、異常時に治療の早期介入ができるのではないかと。その他、外来・病棟看護師の不安の軽減や特定ケア看護師が観察・アセスメントしたことをスタッフに伝えることで情報・知識の共有ができ、スタッフ教育につながっていくのではないかと考えました。

地域医療振興協会で特定ケア看護師を養成していることを知り、上司に県立志摩病院での状況を報告して自施設での必要性を熱く伝えたことでJADECOM-NDC研修センター3期生として研修に参加することができました。1年間の自施設、協会施設での実習協力のおかげで無事終了し現在は自施設で卒後臨床研修を行っております。

### 臨床研修期間

私はNDC研修センターでの研修修了後、4月から看護部に所属して、内科・整形外科を3ヵ月おきにローテーションしながら臨床研修を実施しております。主に入院患者様の管理と救急外来支援、特定行為の実践を医師と相談しながら、日々の業務を行っております。また毎週木曜日は、非常勤で来られている形成外科医の指導の下、外来診察や外来手術などの介助を行いながら創傷管理を学んでおります。

研修当初は、スタッフから「いつも走り回って大変ね」「きちんと休んでるの？」など気遣っていただく場面もありましたが、日々楽しみながら研修を行っています。

当院でできる特定行為は限られていますが、



勉強会風景

患者様の状態を考え臨床推論，特定行為を用いながら日々，診療の支援を行っております。最近では，主治医から特定行為などを任せられることが多くなってきていますので，医師の指示のもと安全を第一に考え実施しています。その他，救急外来で身体診察・問診などを実施させていただく機会があるので，医師が必要な情報が取れるよう心掛けて実施しています。

患者様の治療方針は，患者様の状態を把握した上で，朝の回診時や外来終了時に確認して，医師をはじめ各部署との連携を取りながら患者様に最良な医療は何かを考えています。

知識・技術はまだ未熟なため毎日が勉強です。不明な点はすぐに調べて，それでも不明な時には医師に直接質問して解決することを心掛けています。またスタッフとの知識の共有として，e-ラーニングや実習などで学んだ知識をもとに短時間で分かりやすくをスローガンに勉強会を開催しています。

### 診療所研修

昨年11月に2週間ほど診療所研修で六ヶ所村地域家庭医療センターへ行かせていただきました。研修期間中は外来診療で問診，身体診察，小児検診，救急対応，施設などへの訪問診療など貴重な経験をさせていただきました。その経験の中で感じたことは，特定ケア看護師が介入していける場所が多いことを感じました。この診療所研修で学んだことを自施設でも活かせるように活動していきたいと思います。

### 今後の使命

1年の臨床研修がもう少しで終了しますが，診ると見るが身になってきていると感じます。カンファレンスなどでスタッフに「この患者様は〇〇に気を付けてみてください」と声かけられるようになりました。知識の共有からスタッフ教育にもつながるので，今以上に声かけられるようになることが目標です。

石岡第一病院で初めての特定ケア看護師として，次に続く人材が研修に臨めるようにしっかり体制を作っていくことや，サポートすることが自分の使命だと思います。

今，石岡地域の医療は病院再編などで大きく変わろうとしています。ますます特定ケア看護師の重要性が増し，今以上に知識と技術が要求されると思われます。今後ともご支援よろしくお願ひします。